T-CH ONE

TECHNICAL SHEET

氏名:TK

年齢: 24

職業: None

所在地: 宇都宮線

学歴: 東京デザインテクノロジーセンター専門学校

資格: sikaku

自己紹介: zikoPR

■ スキル一覧

【スキルレベルの判断基準】

S: 専門家レベル - その分野のエキスパートとして、複雑な問題解決や指導が可能

A: 上級レベル - 実務経験が豊富で、独力でプロジェクトを遂行可能

B: 中級レベル - 基本的な実務経験があり、チーム内で活躍可能

C: 初級レベル - 基礎知識があり、サポート業務が可能

D: 学習中 - 現在学習中のスキル

test

期間: 2025年06月10日 ~ 2025年06月28日

説明: 概要が提供されていないため、職務経歴書用の実績説明を生成できません。 🛛

X

例として、もしプロジェクト概要が以下のようなものだった場合を想定して、どのような実績説明が生成できるかの

X

例1:⊠

 \boxtimes

プロジェクト概要:⊠

顧客管理システムの刷新プロジェクト。老朽化した既存システムを最新技術を用いてクラウドベースに移行し、顧客

□ 職務経歴書向け実績説明:□

X

プロジェクトリーダーとして、顧客管理システム刷新プロジェクトを成功裏に完遂:

老朽化した既存システムをクラウドベースに移行し、顧客データ

技術: ["[\"python\"]"]

・スキル管理WEBアプリ作成

期間: 2002年05月07日 ~ 2004年09月08日

説明: 術スタック: Flask (Python) と Supabase

を利用し、エンジニアのスキル管理アプリケーションを開発。 開発内容:

エンジニアのスキル情報を登録・管理する機能の実装。 Supabase

をバックエンドデータベースとして採用し、データの永続化と効率的な検索を実現。 Flask

を用いて、ユーザインターフェース (UI) とバックエンドロジックを統合した

Webアプリケーションを構築。 成果:

エンジニアのスキル情報を一元管理できるシステムを構築し、情報共有の効率化に貢献。 Supabase の採用により、データベースの構築・運用コストを削減し、開発期間を短縮。 Flask

のフレームワークを活用し、スケーラブルで保守性の高いアプリケーションを開発。 担当役割:

要件定義、設計、開発、テスト、デプロイまで、アプリケーション開発の全工程を担当。 Supabase データベースの設計と最適化。 Flask を用いたバックエンド API の開発とフロントエンドとの連携。

自己評価: Python、Flask、Supabase

を用いたフルスタック開発経験を通じて、Webアプリケーション開発スキルを向上。

データベース設計や API 設計の重要性を再認識し、より効率的な開発プロセスを確立。

技術選定から実装、運用までの一連のプロセスを経験し、プロジェクトマネジメント能力を向上。

技術: ["Windows10、Teams、Word、Excel、 PowerPoint、VMware、 PowerShell、 Citrix Workspace"]

· test

説明: puro

技術: ["python"]

■ プロジェクト履歴(続き)

test

説明: ID変更のために

技術: [""]

作成日: 2025/06/11